

Talk & Talk

市民談話室

日ごろ考えていることや身の回りの出来事などを、500字程度にまとめて投稿してください。紙面の都合上、若干手直しさせていただくこともあります。あて先は広報広聴係(〒950-12 白根市大字白根1235 白根市役所企画財政課)です。

新春雑感

竹内孝哉(中町)

雪の越後は思えないような穏やかな気候の中で一九九七年の新春を迎えた。新春をこぼく気持ちの中で、どこか捕らえどころのない不安感を感じる今日このごろである。

中国の李鵬首相がニュージランドの総理に「今のままなら日本は三十年後に滅びるだろう」と言ったそうである。

巨額な財政赤字と急激な社会の変化に対応できなくなった日本の行政機構、待たなしのところで追い詰められた行政改革。一方では、消費税増額、特別減税の切り捨て等々で先行き明るさのほつきりしない日本の経済。

しかし、「広報しろね」の市

を見て田んぼだけ。ちよつと買い物に出掛けたくても歩いて二十〜三十分も掛かり、「なんて不便な所なんだろう」としばしば思いました。しかし、住めば都。今では呼び声の届くほどのすぐ近くにカルチャーセンター、学校、工業団地、スーパーなど。まだまだ発展性のある白根市に期待を持ち、この素晴らしい環境の中で、精いっぱい生き、働きたいと思えます。

生涯学習センターとは

(仮称)生涯学習センター建設計画検討委員 丸山 悟(日の出町) 市の第四次総合計画の前期の目玉として(仮称)生涯学習センターの建設が盛り込まれているが、どうも「生涯学習」という言葉が市民に正しく理解されていない節があり、残念に思われてならない。簡単に言って、老人たちの習いごとの場と捕らえられているようだ。

これは、根本から違っている。人(他の動物も)は生まれ落ちてから死に至るまで学習の繰り返しである。生まれて間もない赤ん坊が乳を吸うのは、半ば本能的であるが、その母はまた授乳の良い習慣を他人に聞いた

白根市民であることに誇りを

時田恭子(浦梨)

私が白根市民となって、早いもので二十二年。生まれ育った加茂市とちょうど同じ年月が過ぎてしまいました。二十二年前は、前を見ても裏

たりとそれぞれ学習しているのである。家庭教育、学校教育、社会教育と際限なく続く教育も、受ける側に立てば学習である。義務教育は別として、ほか好きなものを教えられるより、求めていくことが本来の学習である。だれしもが何につけても今より良くなりたいと願うために学習が続けられる。その一助としての図書館、公民館、運動施設などが必要となる。それを満たすのが生涯学習センターなのである。

夜桜見物のできるカルチャーセンターに

新保朝子(和泉)

春、カルチャーセンターの総合公園には美しい桜が咲き、大人や子供たちの目を和ませています。

この公園周辺を整地し、もつと桜を植えて、夜はほんほりをつけて夜桜見物ができるようにしてはいかがでしょうか。ほんほりの明かりは午後九時から十時までとし、せろかくステージもあるのですから、桜でカラオケ大会でも思えます。もう一つの白根市の顔が生まれるのではないのでしょうか。



市民文芸

俳句

短日の塗師の灯仄暗し 木村 トリ
凍つる夜や怒涛の如き津軽三味 公修 雪夫
紅ひいて白衣に着替へ初鏡 五十嵐 智恵子
良寛の山をこがして冬入り日 豊木 サダ子
出不精の妻へのみやけ初みくじ 五十嵐 寛香
駆け落ちの如くに妻と冬の珠 安沢 飛浪
ほのぼのと厨に満つる初明り 堀内 ナナ子
初御空日の煤々と翳りなし 細貝 漢子
炉話のいつしか独り歩きして 成沢 素明
雑煮椀母の言葉のよみがへり 佐々木 瑠子
元旦の月オレンジに半月に 古川 綾
いつもこの刻この場所の焼餅屋 猪股 南魚
茶柱に話のはずむ四風温 間島 さよ子
愛憎を幾たび生きて建国日 真鳥 つぎえ
老猫も四温に背筋伸しゆる 小林 なお
黄梅や茶転といふ僻地づめ 小林 富沙子
黄梅に和みし会話婚の使者 遠藤 大蔵
黄梅の咲ききつている公民館 知野 信一郎
黄梅や一人占めして隠居部屋 金子 千代
唯一つなき日の丸や建国日 塚本 幹子
建国日都心にもある低き家 田中 美根子
三寒の鶴四温の鳩が啼き 丸山 虚秋
男にもピアスの世代建国日 間島 秀穂

短歌
おみくじを小枝に結ぶ風習を 関西なまりの人に問わると 田中 恭子

ひらきたる紅き椿をやわらかく つつむ淡雪陽にかがやきて 木川 久子
春浅く雪舞う風の荒き日も 川辺に立てば土筆萌えおり 大旗 イツ
戦中の事など語り母と娘が 雪降る宿に指流しと娘が 山際 恵美子
おつかね運指で鳴らすオカリナに 「春の小川」の曲一つ成る 坂井 清一
カタカナ語ら抜き言葉の嫁と孫 とり残されて老いゆくわかれ 朝明 けの飛行機音に目覚むれば 犬の遠吠え悲しく聴こゆ 鮎子
暮れてゆく鹿島の宮に祈る女 後ろ姿のみなざる淑気 安達 富美
管公に書き初めそなへ母三十分 知ってか知らず梅三分咲き 春の陽に明るい笑顔民の心 聞きてあなたの優しき心 唯が言ふか根岸の里の愚か者 河内 勝哉
唯が言ふか根岸の里の愚か者 河内 勝哉
揃いも揃へし剣道五段 小出 熊四郎

川柳
灯を消して星の明るさ確める 佐藤 トミノ
尾緒つけ噂話が追つてくる 佐藤 ヨキ
休日の朝は無欲になる寝顔 田村 恒夫
離婚などともないとお離れ様 マジシャンに頼るか詐欺の種明かし 高橋 祐四郎
蛇行する流れ変えたい曲り角 中村 尚治
方便の壺も看護のテラニツク 西条 ムラ
年金の酒年輪の影で酔う 山岡 フミ
一心同休影が一ツになる夫婦 吉川 彰
点滴終り涙んだ息を吐く日暮れ 今井 七郎
落ちこぼれの詩人を裁く冬風 織田 福治
行筆は議員減して先ず手本 織田 セツ
廢屋の松がすべてを知っている 大谷 龍吉
錆のきた脳に歯止めがかからぬ 岡 満記子
ニツ目の老眼鏡で見る余生 後藤 マサノ
今井 八重子

広報クイズ

【応募方法】 はがきに答え、住所、氏名、年齢、ご意見を書いて白根市役所広報係(〒950-12 白根市大字白根1235)へ。締め切りは3月14日(金)必着。正解者の中から抽選で5人に5000円の図書券を、3人に県立自然科学館招待券をペアで差し上げます。

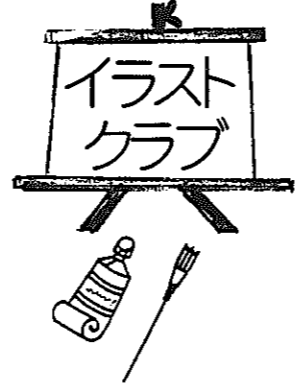
- 【問題】
- ①楽しもって“秋”まつりが開催されるのは何月？(ヒント=2ページ)
A=1月 B=9月 C=11月
 - ②カルチャーセンターの利用者数は毎年約何人？(ヒント=4ページ)
A=22万人 B=1万人 C=12万人
 - ③肩凝り予防で一番大切なことは？(ヒント=10ページ)
A=正しい姿勢 B=運動 C=睡眠
- 【当選おめでとう】 先月の正解は①A②B③Bでした。【図書券】金田まり子(古川)和泉賢(桜町)小林真(浦梨)皆川光雄(日の出町)齊藤将成(引越)【自然科学館招待券】相沢尚之(魚町)星野哲郎(大通南)笠原あいら(鶯ノ木新田)

今月のハガキから

- ◎小学生の登下校の様子を見て、腹立たしく思います。道いっばいに広がったり、傘を振り回したり、石や雪玉を投げ合って走っているなど危険なことばかりです。息子の保育園の送り迎えで、毎日ひやひやしています。もっと「思いやり」を持ってほしいです。(K)
- ◎50円くらいで入れる市営プールを造ってほしいです。ごみ焼却の熱を利用できないのでしょうか。もったいないです。東京都には、実際にごみの焼却熱を利用した温水プールがありますよ。(M)
- ◎土手沿いを子供連れで遊べるように整備してほしいです。(N)

イラストクラブ

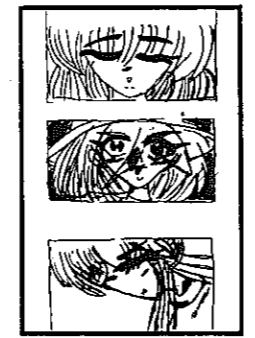
◎イラストははがきに黒一色ではっきりと。
◎薄い鉛筆書きはボツにします。
◎ペンネーム希望の人も住所、氏名、年齢を忘れずに。採用分には粗品を進呈。
◎締め切りは毎月15日。それ以降に届いたものは翌月に回します。
◎あて先 〒950-12 白根市大字白根1235 白根市役所広報しろねイラスト係



▲P.N 彩さん (美咲町・7歳)



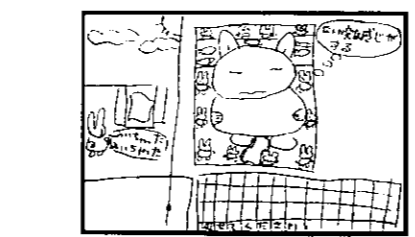
▲P.N 北の子さん



▲田村ゆきさん (桜町・9歳)



▲神山雅史さん (葵町・4歳)



▲P.N おはようモンキーさん



▲近藤謙太さん (沖新保・10歳)



▲P.N プチさん (南新町・高1)



▲P.N 春麗さん